

保証書

持込修理 無料修理規定



- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	オートフィード シュレッダー	★お買い上げ日：
型番 / 品番	SHR-AF1009/00-5180	年 月 日
		保証期間：本体 1 年間（お買い上げの日から）
お客様	(フリガナ) ★お名前	様
	★ご住所 〒	—
		電話 ()
修理メモ		
販売店	★住所 店名 電話	
		(印)

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

00-5180A

オートフィードシュレッダー

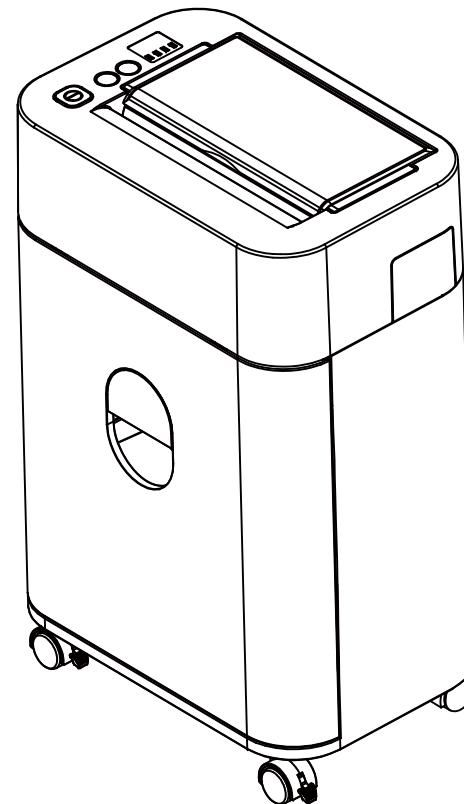
Auto Feed Shredder SHR-AF1009

取扱説明書

保証書付

商品特長

- ◎オートフィードの場合
紙をオートフィード投入口に
セットするだけで自動的に細断
(セット枚数 A4 サイズコピー用紙 100 枚まで)
- ◎手差しの場合
一度に A4 サイズコピー用紙 (64g/㎡)
9 枚まで細断可能
- ◎4×10mm のクロスカット
- ◎モーターを過熱から守る
オーバーヒート自動停止機能
- ◎オートスタートセンサーつき
- ◎約 17ℓ のダストボックス
- ◎キャスター付き



品 番：00-5180

目次/仕様

目次

目次 / 仕様	1
安全上のご注意	2～4
各部の名称と働き	5～6
ご使用方法	7
ご使用前に	7
紙を細断する	7
手差し細断をする場合	7
オートフィード細断をする場合	7
紙詰まりの処理	8
細断くずを捨てる	9
オーバーヒート	9
お手入れ方法	9
故障かな？と思ったら	10
保証書	裏表紙

仕様

型番 / 品番	SHR-AF1009/00-5180
外形寸法	約幅331×高さ502×奥行218mm
質量	約8.4kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	280W
定格電流	2.9A
定格時間	3分 / 休止時間 45分
投入口幅	約220mm
細断サイズ	約4×10mm クロスカット
最大細断枚数	A4コピー用紙(64g/㎡)：9枚
細断速度	約1.8m/分(9枚手差し細断時)
コードの長さ	約1.2m
ダストボックス容量	約17ℓ
材質	本体：ABS/ダストボックス：PP

※測定条件：室温 20～25℃、相対湿度 45～55%、A4 コピー用紙 (64g/㎡)
※仕様及び外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

梱包内容	シュレッダー本体(ダストボックス含)取扱説明書(保証書付)
------	-------------------------------

故障かな？と思ったら

■トラブルが発生した場合は以下のチェックを行なってください。

現象	確認内容	対処法
シュレッダーが動かない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	「電源ランプ」が点灯していますか？	「電源(入/切)ボタン」を押し、電源ランプの点灯を確認してください。
	細断する紙が投入口の「オートスタートセンサー」の部分に入っていますか？	紙投入口内中央部にある「オートスタートセンサー」を通過するように投入してください。
	「ダストボックス」が本体に正しくセットされていますか？	「ダストボックス」を正しく本体にセットしてください。
	「ゴミ満杯ランプ」(赤)が点灯していませんか？	「ダストボックス」内の細断くずを処理してください。
細断中にとまった細断できない	細断する紙が投入口で詰まっていますか？	「逆転」ボタンを押し、紙を取り除いてください。 紙の量を減らして再投入してください。
	紙を斜めに入れていませんか？	
	「枚数超過ランプ」が点灯していませんか？	「オートフィードカバー」を起こし、P8の手順で紙を取り除いてください。
	細断する紙が「オートフィードカバー」内で詰まっていますか？	
クロスカット状に細断されない	「オーバーヒートランプ」が点灯、自動停止機能が働いていませんか？	紙をかみ込んだ状態で運転を続けたり、通常使用で連続運転を長く続けたりしますと、モーター保護のため細断が自動的に停止します。 この時は電源を切り、約45分間本製品を休ませる必要があります。
	「規定枚数」以上投入していませんか？	一度に細断できる枚数はA4コピー用紙(64g/㎡)9枚までです。

上記を確認しても現象が改善されない場合は事故防止のため、ただちに使用を中止して、必ず販売店または弊社修理ご相談センターに修理・点検を依頼してください。

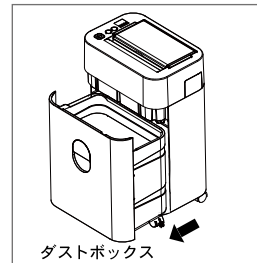
ご使用方法

■細断くずを捨てる

■細断くずがいっぱいになるとゴミ満杯ランプ(赤)が点灯し、細断できなくなります。

【処理方法】

1. 細断くずを捨てるときは必ず本製品の「電源(入/切)ボタン」を「切」の状態にしてください。
2. ダストボックスを本体より引き出して、ダストボックス内の細断くずを捨ててください。
3. ダストボックスを元に戻してください。
正しくセットされていないと、「電源(入/切)ボタン」を「入」の状態にしても「電源ランプ」が点灯せず、細断ができません。



注意

- 細断くずは各自治体の定める規定に従って廃棄してください。
- 細断くずは満杯になる前にこまめに捨ててください。
細断くずがたまったらそのまま使用を続けると、細断くずがカッターに巻き込まれ、故障の原因となります。
- 本体ヘッド部分の裏側にある排出口には絶対に手を入れないでください。
内部にカッターがあり、けがをするおそれがあります。

■オーバーヒート

■連続で使用時間が長かった場合や紙詰まりを何回も起こした場合などにモーターの過熱による故障を防ぐため、オーバーヒートランプ(赤)が点灯し、細断が自動的に停止することがあります。停止した場合は以下の手順で操作してください。

1. 「電源(入/切)ボタン」を「切」の状態にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 45分以上そのまま放置して、モーターを冷却してください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込み「電源(入/切)ボタン」を「入」の状態にしてください。
4. 細断する紙を投入して細断を行なってください。

■お手入れ方法

■お手入れは「本体外部樹脂」と「ダストボックス」のみを行なってください。

1. 「電源(入/切)ボタン」を「切」の状態にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を少量布につけて拭き取ってください。



警告

- 可燃性スプレー(潤滑剤、オイルスプレー、エアダスターなど)を絶対に吹きかけないでください。可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発のおそれがあります。
- 細断刃部分には手をふれないでください。



注意

- シンナーやベンジン等の有機溶剤は変色、変形、傷みの原因となりますので絶対に使用しないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

■表示について：表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
(下記は図記号の一例です。)



禁止

この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



指示

この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



取扱説明書参照

- ご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、安全にお取り扱いください。



子供使用禁止

- 乳幼児やお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。
- 絶対にお子様に触れさせたり、使用させないでください。
思わぬ事故や、感電、けがのおそれがあります。



手を入れるな

- 投入口や排出口に手や指を絶対に入れないでください。
- 細断中は紙から手を離してください。指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。
- カッター部には絶対に触れないでください。
けがのおそれがあります。



髪の毛巻き込み注意

- 髪の毛を投入口に近づけないでください。
投入口に引き込まれ、けがのおそれがあります。



衣類巻き込み注意

- ネクタイ、スカーフ、カードホルダー、服の袖や裾、腕時計のベルトやチェーン、ブレスレットなどを投入口やその付近に近づけないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

 可燃性スプレー厳禁	●可燃性スプレー（潤滑剤、オイルスプレー、エアダスターなど）を絶対に吹きかけないでください。 ●ヘアースプレーなどを本製品の近くで使用しないでください。スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	●使用しない時はコンセントから電源プラグを抜いてください。思わぬ事故やけがの原因となることがあります。 ●発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜いてください。火災や感電のおそれがあります。使用を中止して、販売店または弊社修理ご相談センターに修理を依頼してください。
 禁 止	●電源は交流 100V 50/60Hz 以外では使用しないでください。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。 ●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。 ●電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電のおそれがあります。 ●故障や一部破損した状態で使用しないでください。けがや感電のおそれがあります。 ●投入口をのぞき込んだり、顔を近づけないでください。けがのおそれがあります。
 分解禁止	●お客様自身での分解、改造、修理はしないでください。火災や感電、けがのおそれがあります。修理は販売店または弊社修理ご相談センターに依頼してください。ご自身で分解、改造、修理を行なった場合は保証の対象となりません。

ご使用方法

■紙詰まりの処理

■手差し細断時紙詰まりの場合

投入した紙が多すぎると自動的に停止し、紙詰まりランプ（赤）が点灯します。

【 処理方法 】

1. 「逆転」ボタンを押しながら詰まった紙を取り除いてください。次に「正転」ボタンを押して投入口奥の細断くずをダストボックスに落としてください。
2. 紙の量を減らして再投入してください。

■オートフィード細断時紙詰まりの場合

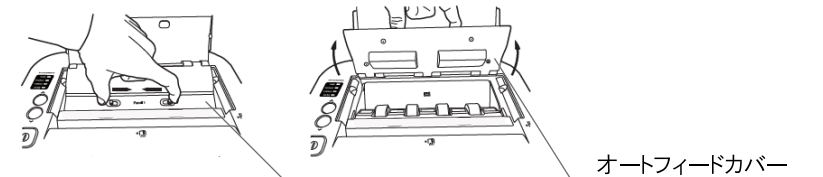
【 処理方法 】

1. 「逆転」ボタンを押しながら詰まった紙を取り除いてください。次に「正転」ボタンを押して投入口奥の細断くずをダストボックスに落としてください。
2. 破損、変形した紙は手差し細断してください。変形していない紙はそろえて、オートフィード投入口にまとめてセットしてください。

■オートフィードカバー内に紙詰まりの場合

【 処理方法 】

1. 本製品の「電源（入 / 切）ボタン」を「切」の状態にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. オートフィードカバーを図のように開き、詰まった紙を取り除きます。



警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてから操作してください。
- 投入口や排出口に手や指を絶対に入れないでください。
- 細断中は紙から手を離してください。指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。
- カッター部には絶対に触れないでください。けがのおそれがあります。

ご使用方法

■ご使用前に

- ご使用前に必ず水平で安定した場所に設置してください。
- ダストボックスをシュレッダー本体にきちんとセットしてください。
※ダストボックスがきちんとセットされていないと、シュレッダーを作動させることができません。

■紙を細断する

1. 電源プラグをコンセントに差し込み「電源（入 / 切）ボタン」を「入」の状態にしてください。電源ランプが点灯します。

【手差し細断をする場合】

2. 細断する紙を「紙投入口」の「オートスタートセンサー」を通過するように、紙をそろえて、まっすぐ投入してください。「オートスタートセンサー」が検知し、自動的に細断が始まります。

【オートフィード細断をする場合】

3. オートフィードトレイを開きます。
4. ステープル（ホチキス）、クリップ、ピンなどが無いことを確認し、細断する紙をそろえて、オートフィード投入口にまとめてセットします。一度にセットできる枚数は A4 コピー用紙（64g / m²）で 100 枚までです。
5. 数秒後紙送りされ細断していき、細断終了後、自動的に停止します。
6. 細断が終了しましたら、「電源（入 / 切）ボタン」を「切」の状態にしてください。使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

※オートフィード細断中は手差し細断を行わないでください。紙詰まりや故障の原因になります。



電源（入 / 切）ボタン

⚠ 注意

- 投入口をのぞきこんだり、顔を近づけないでください。ケガのおそれがあります。
- ステープル（ホチキス）、クリップ、ピンなどは必ず取り除いてから細断してください。
- 紙以外のものは細断しないでください。
- 紙はそろえて投入してください。
- 手差し細断で一度に細断できる紙は A4 コピー用紙（64g / m²）で 9 枚までです。オートフィード細断で一度にセットできる枚数は 100 枚までです。
- オートフィード細断は A4 サイズの紙専用です。それ以外のサイズの紙は手差し投入口を使用してください。
- 規定枚数以上の細断やセット、細断途中での継ぎ足しはしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 手差し細断の場合、連続投入しないでください。紙詰まりの原因になります。
- 紙の細断状態は紙の質や湿気などにより変わりますのでご了承ください。
- 下記のものは細断できないので投入しないでください。故障やケガの原因となります。

粘着ラベル、宅配便の送り状、ラベル等のついた紙、湿った紙、和紙、カーボン紙、新聞紙、ビニール類、ティッシュペーパー、フィルムや OHP シート等のプラスチックシート類、各種フィルム、ひも類、布類。

安全上のご注意

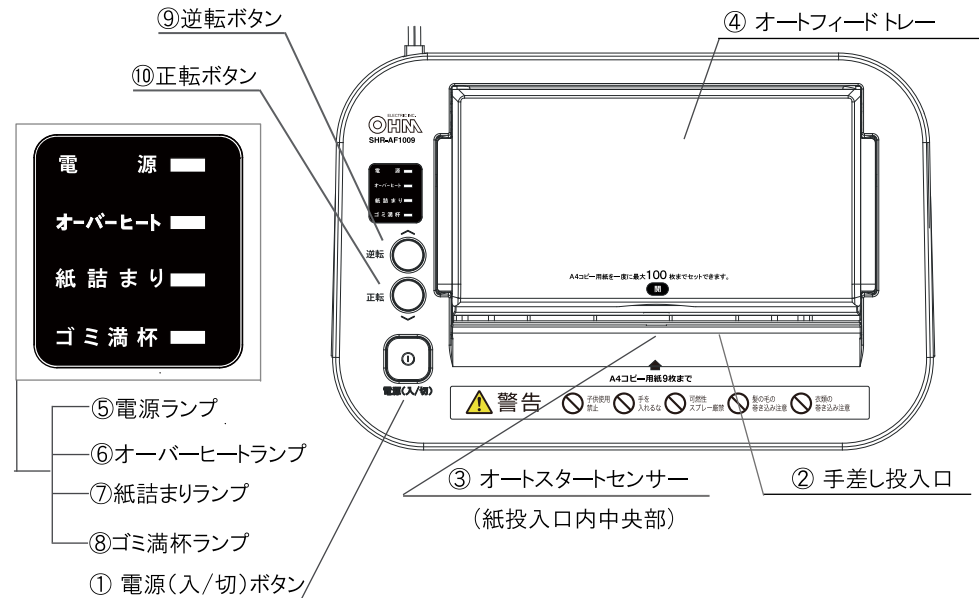
必ずお守りください

⚠ 注意

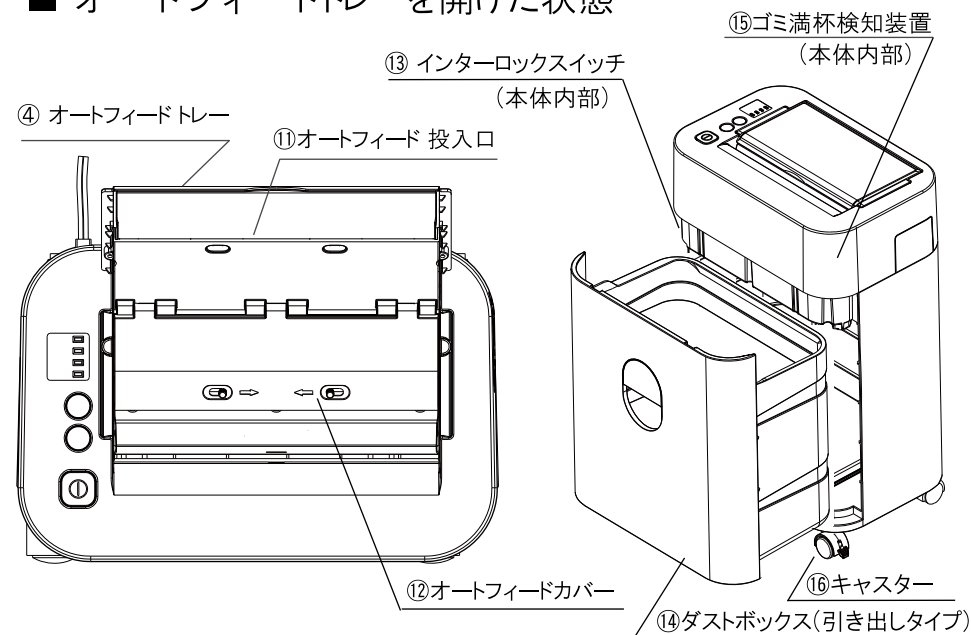
 禁 止	● 以下のものは投入しないでください。 粘着ラベル、宅配便の送り状、ラベル等のついた紙、湿った紙、和紙、カーボン紙、ティッシュペーパー、新聞紙、フィルムや OHP シート等のプラスチックシート類、各種フィルム、ビニール類、ひも類、布類。 ● 最大細断枚数を超える紙を投入しないでください。 ● ステープル（ホチキス）、クリップ、ピンは取り除いてから細断してください。故障や詰まりの原因になります。 ● 上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。故障やけがの原因になります。 ● 暖房器具や熱器具、火気のそばで使用しないでください。本体が変形し、火災や感電、故障の原因になります。 ● 高温多湿の場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。 ● 本製品に金属類を入れたり油や水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 ● 直射日光の当たる場所に設置しないでください。誤作動や故障の原因になります。
 注 意	● 水平で安定した場所に設置してください。本体が倒れ、けがのおそれがあります。 ● 電源コンセントの近く（電源プラグの抜き差ししやすい場所）に設置してください。 ● 電源コードは曲げたり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。 ● 電源プラグを抜く時は必ず電源プラグを持ってください。コード部分を持って引っ張らないでください。火災や感電、故障のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	● 細断くずを捨てる時やお手入れをする時、本製品を移動する時、長期間使用しない時は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。火災や感電、けがのおそれがあります。

各部の名称と働き

■ オートフィードトレイを閉じた状態



■ オートフィードトレイを開けた状態



各部の名称と働き

①電源(入/切)ボタン

使用するときには「入」の状態にしてください。使用しないときは、必ず「切」の状態にしてください。

②手差し投入口

手差し細断する紙をここから投入します。

③オートスタートセンサー(紙投入口内中央部)

投入口内中央部には検知センサーがあります。「紙投入口」から細断する紙を投入すると、自動的に細断が始まります。「オートスタートセンサー」を通過するように紙を投入してください。

④オートフィードトレイ

オートフィード細断をする場合に開きます。

⑤電源ランプ(青)

電源(入/切)ボタンを「入」の状態にすると青色LEDランプが点灯します。

⑥オーバーヒートランプ(赤)

オーバーヒート時、赤色LEDランプが点灯し、自動停止します。

⑦紙詰まりランプ(赤)

最大細断枚数を越えた紙を投入したり、紙詰まりが起きると赤色LEDランプが点灯し、自動停止します。

⑧ゴミ満杯ランプ(赤)

ダストボックスが満杯になると赤色LEDランプが点灯し、自動停止します。

⑨逆転ボタン

細断時、紙が詰まった場合は、逆転ボタンを押しながら詰まった紙を取り除いてください。

⑩正転ボタン

投入口奥に残った細断くずをダストボックスへ落とす場合は正転ボタンを押してください。
※ボタンを押し離れた後も、数秒間動作が続きます。

⑪オートフィード投入口

オートフィード細断する紙をここから投入します。

⑫オートフィードカバー

オートフィードカバー内に紙が詰まった場合、カバーを開いて、紙を取り除いてください。

※P8の処理方法を参考に処理してください。

※オートフィードカバーが開いた状態や、しっかり閉めてない状態ではシュレッダーは動作しません。

⑬インターロックスイッチ(本体内部)

「ダストボックス」が本体に正しくセットされていないときに電源を遮断する安全装置です。

⑭ダストボックス(引き出しタイプ)

細断くずを収納します。

⑮ゴミ満杯検知装置

細断くずが一定量になると装置が検知し、細断が停止します。

同時にゴミ満杯ランプ(赤色)が点灯します。

⑯キャスター

移動に便利なキャスターがついてます。

前輪はストッパー付きです。移動時はロックを解除、移動しないときはロックしてください。